



【発信日】令和5年1月10日

【問い合わせ先】

大野市教育委員会事務局

生涯学習・文化財保護課 担当 佐々木、田中

電話 0779-65-5590 内線 75-204

「おおの遺産」に新たに2件を追加

～令和4年度認証書交付式を開催～

令和4年度結の故郷伝統文化「おおの遺産」に認証する伝統文化が決定いたしました。今年度は2団体に、結の故郷伝統文化認証書を交付します。

つきましては、認証書交付式を開催いたしますので、当日の取材をお願いいたします。

記

- 日時 1月16日（月） 午前10時00分から午前10時30分まで
- 場所 結とぴあ201・202号室
- 交付式次第
 - ・教育長あいさつ
 - ・認証書交付
 - ・講評（伝統文化認証審査会 門井直哉会長（福井大学教育学部教授））
- おおの遺産 第22号 新四国八十八ヶ所お砂踏み法要（しんしこく はちじゅうはっかしよ おすなふみ ほうよう）
第23号 水神さんの参詣（みずがみさんのさんけい）
詳細は別紙のとおりです。
- 「おおの遺産」認証の目的
大野市の各地区等に伝わる伝統芸能、祭礼、風習、伝説など、次世代に継承することが必要な伝統文化を結の故郷伝統文化「おおの遺産」として認証することにより、市民共有の貴重な文化遺産として認識し、伝承や保存に対する市民の意識向上を図ります。

令和4年度 結の故郷伝統文化「おおの遺産」認証一覧

認証 番号	分野	団体・代表者名	名称	由来・特色
22	年中行事	大宝寺 住職 安岡聖知	新四国八 十八ヶ所 お砂踏み 法要	<p>大宝寺境内に四国八十八ヶ所霊場の石仏が安置され、各霊場から持ち寄ったお砂が埋納されている。毎年9月1日に法要が営まれ、大宝寺住職の先導の元、参拝者はお砂の上を踏みわたる。この法要は、大正10年の石仏安置以来、続けられている。</p> <p>平時は厨子内に納めている旧丹生寺本尊である山王権現像を祭壇に祀っており、また、かつては大般若経の転読が行われていることから、檀家にとどまらず地域住民など広く参拝を促す勧進を目的とした行事だったと推測できる。</p>
23	年中行事	小矢戸区 区長 脇本正則	水神さん の参詣	<p>小矢戸地区は背後の山に奥行きがなく、水源として不十分なため生活水に困ることから古くから湧水地を大切にし、水神である罔象女神（みつはのめのかみ）を祀っている。始まりは不明だが、昭和初期にはすでに行われていた。</p> <p>この祭礼は、毎年6月の第一日曜日に執り行われ、準備を含めすべて地区の婦人会が主催する。祠の紅白幕は婦人会役員が縫って作り、毎年掛け替えており、清浄を保っている。</p> <p>地区の行事は他にもあるが、この参詣は欠かしたことはない。</p>

(参考) これまでに認証を受けた「おおの遺産」

認証番号	認証日	分野	名称	団体等名
1	H29.3.27	生活	七間朝市	大野市朝市出荷組合
2	H29.3.27	伝統芸能	蕨生 里神楽	里神楽実行委員会
3	H29.3.27	伝統芸能	篠座神社の里神楽・豊栄舞	篠座神社獅子舞保存会
4	H29.3.27	伝統芸能	木本領家里神楽	木本領家区
5	H29.3.27	年中行事	木本区初午だんご撒き	木本区
6	H29.3.27	年中行事	篠座神社の福もちまき	篠座神社総代会
7	H29.3.27	年中行事	篠座町の旧家が持ち回る神明講	篠座神社と篠座町（旧家23軒）
8	H29.3.27	年中行事	上大納左義長	上大納区
9	H29.3.27	年中行事	尾永見伊勢講	尾永見神社
10	H29.3.27	年中行事	鍬掛伊勢講	鍬掛伊勢講保存会
11	H29.3.27	景観	行人岩	大矢戸区
12	H30.3.22	年中行事	伊勢講	土布子区
13	H30.3.22	年中行事	下打波白山神社・中神神社の祭礼	下打波区
14	H30.3.22	伝統芸能	稲郷里神楽	稲郷青年会
15	H31.3.14	年中行事	陽明町一丁目1区の不動明王祭	陽明町一丁目1区
16	H31.3.14	年中行事	明倫町1区による乳地藏のご祈祷	明倫町1区
17	R2.3.23	生業	穴馬紙	穴馬紙大すきの会
18	R2.3.23	伝統芸能	奥越太鼓	奥越太鼓保存会
19	R3.2.28	生業	アジメ漁	奥越漁業協同組合「アジメ漁」保存研究会
20	R4.2.24	年中行事	お箸始め	川合区
21	R4.2.24	年中行事	深井の講	深井区